
平成10年度 日本赤十字社臨床衛生検査技師会 総 会 議 事 録 (要旨)

場 所：日本赤十字社会館 201 会議室

日 時：平成10年10月22日

参加者：122名 委任状1,316名 合計1,438名（会員数1,652名）

総司会：高 橋 春 秋 副会長（旭 川）

総 会 次 第

一、開会の言葉 高 橋 春 秋 副会長（旭 川）

一、会長挨拶 日 黒 純 一 会 長（武蔵野）

本総会はここに提示したように平成9年度事業経過報告と平成9年度の決算報告及び平成10年度の事業計画案と予算案、そして平成10年と11年度の役員の改正、その他技師会の運営に関する事項などを決議していただく会です。十分にご審議戴き、私たち医療の中におけます役割を果たしていくための一つの基盤にしたいと思っておりますので御協力をお願いしたい。

一、来賓挨拶

一、祝電披露 日本赤十字放射線技師会、日本赤十字栄養士会より祝電

日本赤十字リハビリ協会会長 和田忠臣様より書中祝い

平成10年度の日本赤十字社臨床衛生検査技師会総会のご盛会と貴会の益々のご発展心よりお祈り申し上げます。今まさに医療冬の時代、行く手には暗雲がたちこめ、幾多の難題が待ち受けていますが、私達医療従事者が力を合わせ、心をひとつにして突き進んで行けば、必ず春はめぐってくるものと信じています。私達の協会は4半世紀を迎えた所です。赤十字病院施設における職能団体は大先輩であります貴会の背中を見ながら頑張っている所存でございますので、これ

からもご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。
最後になりましたが貴会の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り
申し上げます。

一、議長選出・書記任命

議長：笠井直幸（姫路）

書記：事務局

一、議案審議

1. 第1号議案 平成9年度事業経過報告（事務局 西岡光夫：葛飾）

1. 平成9年4月8日 会計監査を実施 大宮日赤
2. 平成9年4月18日 全国幹事会 日赤本社401会議室
平成9年度事業経過報告、平成9年度の各地区ブロック活動報告、平成9年度の一般会計報告、会計監査、平成10年度の事業計画案、平成10年度の会計予算案、平成10年度の表彰会員の決定、平成10年度の役員変更について
3. 平成9年6月5日 記念テレホンカードの郵送（事務局）
4. 平成9年6月20日 日本赤十字社臨床衛生検査技師会ニュースNo.33号の発行（事務局）
5. 平成9年8月1日 常務幹事会及びOB会発足委員会との打ち合わせ会議（日赤本社501会議室）
6. 平成9年8月1日 日赤検査 ISSN No.登録申請（編集部）
7. 平成9年8月4日 ISSN No.が割り当てられる
国際標準逐次刊行番号：ISSN 1343 - 2311
キー・タイトル：Nisseki kensa
8. 平成9年10月21日 OB会発起会に3役が出席 本社会議室
9. 平成9年11月6、7日 平成9年度日本赤十字社臨床衛生検査技師業務研修会
平成9年度日本赤十字社臨床衛生検査技師会総会の開催
10. 平成9年11月～平成10年1月にかけて
平成9年度表彰会員の表彰状と記念品の郵送（事務局）
11. 平成10年2月27日 常務幹事会 本社601会議室
12. 平成10年2月28日 常務幹事会 日赤本社501会議室

平成9年度 地区ブロック活動報告

北海道ブロック

- 平成9年5月24日 定期運営委員会（とちちプラザ）
 平成9年10月18～19日 ブロック研修会（ウエリントンホテル）担当；浦河日赤
 平成10年3月6～7日 技師長会議（赤十字社北海道支部会議室）

東北ブロック

- 平成9年6月27～28日 技師長（代表者）会議（秋田温泉さとみ）
 平成9年6月28～29日 第26回東北赤十字臨床衛生検査技師研修会及び総会

東 部 ブ ロ ッ ク

- 平成9年9月11～12日 ブロック研修会（静岡ステーションホテル）
 担当；静岡日赤

中 部 ブ ロ ッ ク

- 平成9年5月21～23日 技師長・責任者会議

近 畿 ブ ロ ッ ク

- 平成9年9月13～14日 ブロック研修会（関西中小企業総合センター）運営会議
 平成10年3月7日 技師長・責任者会議（大阪府教育会館）

中四国ブロック

- 平成9年5月24日 中四国臨床検査技師理事会（岡 山）
 平成10年2月28日～3月1日
 技師長会議 ブロック研修会

九州ブロック

- 平成9年9月13～14日 技師長 ブロック研修会（熊本健康管理センター）
 議 長：第1号議案に対し質問、承認求めた。
 会 場：質問なし、拍手で承認。

2. 第2号議案 平成9年度会計報告（会計 小野寺とし子：大 宮）

別紙参照

- 議 長：質問を求める。
 会 場：拍手で承認。

3. 第3号議案 会計監査報告（会計監査 久保信雄：横 浜）

入金伝票、出金伝票、貯金通帳、現金など帳簿を監査し、すべてが的確であることを報告（監査は大宮日赤で実施）

議長：会場に第2、3号議案に承認を求める。

会場：拍手で承認。

4. 第4号議案 平成10年度事業報告計画案

1. 平成10年度日本赤十字社臨床衛生検査技師業務研修会の開催
平成10年10月22日と23日 本社201会議室
2. 平成10年度日本赤十字社臨床衛生検査技師会総会の開催
平成10年22日 本社201会議室
3. 第11回日本赤十字社臨床衛生検査学会の開催
平成10年6月6日、7日（松江市） 学会長 深田靖彦（松江日赤）
4. 日赤検査第32巻1号の発行（第11回日赤検査学会抄録集）
5. 日赤検査第32巻2号の発行
平成10年11月（第11回日赤検査学会長の回顧録を掲載）
6. 日本赤十字社臨床衛生検査技師業務の実態調査
検査業務管理についての実態調査
実態調査担当；近清裕一（小松島日赤） 四国ブロック幹事
7. ブロック活動の強化
8. 内部組織の強化
9. 日臨技への協力
10. その他

会長の言葉：平成10年度の事業計画案は4月24日の全国幹事会で計画、立案された事項です。第11回日赤検査学会は中国ブロックの担当で「神々の国、出雲からのメッセージ 21世紀に向けて信頼と心豊かな想像を」をテーマに松江日赤の深田靖彦学会長のもと233名の参加を戴き盛会裡に開催されました。

日赤検査技師業務の実態調査、この調査はシリーズとして実施しておりますが、今回は7回目を迎えました。平成4年から始まり、採血業務、基準範囲、生理機能検査、外注委託検査、検査部の組織、検査部統計処理方法と続き、そして今回の検査業務管理についてとなります。検査の結果につきましては今回の研修会の指定講演と小松島日赤の近清裕一先生から報告があります。

各部ブロック活動は毎年各ブロックで研修会が開催されています。会員数も毎年増加しており平成10年度は1,652の会員数で約82%の加入です。今後とも100%の加入を目指したいと考えています。

本年度は役員改正の年度ですので後程、第6号議案でご審議を戴きます。ご

承認を戴いた新役員の元で一層の強化が計られるものと思いますが、新たに作りたい組織として日赤検査に御投稿戴いた原稿の査読をする部、それから対外的な折衝役をする渉外部等の設置を考えています。

日臨技への協力はこれは一段と厳しく設定された保険点数あるいは医療費の抑制といったような大変気になる中での日臨技の活動に積極的に協力していきたいと考えています。

総会がこの時期に開催される事は既に半年が過ぎてしまっていますので、なるべく5月に総会が開催できないかどうか数年前から検討していますが、早期実施に向けて努力したい。

研修会の内容を本年度から一部変更したい。会員による研究発表は学会開催のない年とし、学会開催年はシンポジウム形式としたい。

研修会でのアンケート調査は以前実施していたが、途中途絶えています。毎年の研修会のアンケートは今後続け、会員の意見を集約し、研修会の内容をより一層の充実を目指す貴重な資料としたい。

議 長：承認を要請

会 場：拍手で承認

5. 第5号議案 平成10年度の会計予算案提示（会計 小野寺とし子：大 宮）

別紙参照

議 長：会場に質問を要請する。

西本節也先生（大津日赤）：次年度繰越金が200万程少なくなっています。この主旨を説明願いたい。

会計係：繰越金に関しては多い計上でない方が会の反映に良いと思っています。会議費など、本社会議室を無料で使用し、予算以下となります。今後この状況が続くかの保証もなく、さらに旅費の計上も多くしてあり、今回の予算となった。

松本剛志先生（大阪日赤）：会費収入での会員数が34名の減少について説明願いたい。

会計係：9年度の最終決算では1,652名です。今年度の会費収入は既に終了し、32名ほど少なくなっています。自己負担での施設が増えつつある現状が伺え、会員が減少傾向にあると考え、若干少なくした予算内容です。

議 長：平成10年度の会計予算案の承認を求める。

会 場：拍手で承認

6. 第6号議案 平成10年度の役員変更について

議長：平成10年度の役員変更を役員推薦委員に要請

山崎美喜雄先生（役員推薦委員）：別紙の通り推薦する。〔会員名簿参照〕

議長：承認を会場に要請

会場：拍手で承認

7. 第7号議案 その他

議長：その他の議案を会場に要請

会場：（質問者不明）：現役会員の不慮事故死の弔慰金、災害時で技師会として全国にカンパを募り、見舞金を送るなど会の考えはないか。

事務局：現時点での会の慶弔規定には含まれていません。

会長：現在の会則にはない。先般の阪神大震災時に会から災害地に対して見舞金を援助出来なかった。その教訓を受けまして技師会としてどのような方法でできるかを検討していきたい。

議長：この問題は慶弔規定を変え、予算での特別枠を設ける必要もでてきます。今後検討課題としてお願いしたい。

議長：他に議題を要請

会場：質問無し

議長：以上をもって議題を終了する。

一、議長解任

一、平成10年度表彰（敬称略）

各ブロックよりの推薦者（敬称略）は次の通りで、全国幹事会において表彰者は決定された。表彰状と記念品が会長より贈呈された。

特別功労表彰

大西将則（大阪）

学術功労表彰

海藤秀敏（松山） 柳和見（足利）

永年功労表彰

北海道 小幡洋司（旭川）

東北 京野敬次郎（秋田） 山内妙子（秋田）

東部 浦部陸子（横浜） 山崎美喜雄（山梨）

鈴木敏明（浜松） 八木弥八（静岡）

小川治康（静岡）

中 部 川 北 明 弘 (山 田)

近 畿 西 川 美 年 子 (京 都 第 一) 田 子 裕 子 (京 都 第 二)

中 国 深 田 靖 彦 (松 江)

四 国 該 当 者 な し

九 州 該 当 者 な し

表彰会員には表彰状と記念品を贈呈（功勞表彰は高級置き時計、學術功勞表彰は広辞苑、永年功勞表彰は高級バッグ）

一、閉会の言葉：高 橋 春 秋 (旭 川)

平成9年度一般会計決算書

 自. 平成9年4月1日～
 至. 平成10年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,840,138	学術費	1,798,054
会費収入(1,652名)	3,368,000	旅費	7,720
広告収入(31社)	490,000	会議費	57,181
受取利息	9,564	会誌印刷費	1,365,200
雑収入	138,325	事務通信費	275,415
研修会参加費(134名)	792,000	事務消耗品費	68,932
		事務印刷費	101,780
		雑費	263,072
		備品費	96,681
		予備費	
		特別会計繰入金	1,000,000
		次年度繰越金	5,603,992
計	10,638,027	計	10,638,027

平成9年度特別会計決算書

 自. 平成9年4月1日～
 至. 平成10年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	928,334	赤十字検査学会助成金	1,500,000
受取利息	192		
一般会計繰入金	1,000,000	次年度繰越金	428,526
計	1,928,526	計	1,928,526

雑収入：会誌別刷り含む 備品：表彰記念品代含む

平成10年度一般会計予算案

 自. 平成10年4月1日～
 至. 平成11年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	5,603,992	学術費	2,000,000
会費収入	3,380,000	旅費	150,000
広告収入	400,000	会議費	300,000
受取利息	10,000	会誌印刷費	1,600,000
雑収入	20,000	事務通信費	500,000
研修会参加費(135名)	810,000	事務消耗品費	200,000
		事務印刷費	200,000
		雑費	200,000
		備品費	200,000
		予備費	500,000
		特別会計繰入金	1,000,000
		次年度繰越金	3,530,138
計	10,223,992	計	10,223,992

平成10年度特別会計予算案

 自. 平成10年4月1日～
 至. 平成11年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	428,526	赤十字検査学会助成金	0
受取利息	300		
一般会計繰入金	750,000	次年度繰越金	1,178,826
計	1,178,826	計	1,178,826

平成10年度 日赤臨床衛生検査技師業務研修会

(平成10年10月22日～23日 於：日赤本社)

【本社教育講演】

医療事業部経営指導課 見 澤 泉 課長

【シンポジウム】：輸血業務について

司会 日本赤十字社医療センター 検査部 金 沢 美恵子

大宮赤十字病院 検査部 和 田 寿 子

1. 輸血業務管理体制について

八戸赤十字病院 検査部 佐々木 則 雄

2. 輸血業務管理体制について

鳥取赤十字病院 検査部 竹 本 利 江

3. 前橋赤十字病院に於ける輸血業務管理一元化の試み

前橋赤十字病院 検査部 竹 島 孝 子 萩 原 勉 小野沢 京 子

林 繁 樹 伊 藤 秀 明

4. 当院における血液製剤の管理運営について

北見赤十字病院 検査部 仲 西 秀 二 畑 中 康 教 高 橋 美 香

5. 血液製剤に対するX線照射の現状と問題点について

名古屋第二赤十字病院 検査部 木 村 まゆみ

6. タイプ&スクリーニング

小松島赤十字病院 検査部 前 川 鏡 子

7. I & A の持つ意義と今後の問題

大阪赤十字病院 検査部 松 本 剛 志

8. 認定輸血検査技師制度実施後の院内の変革と地域活動について

福岡赤十字病院 検査部 富 安 和 光

【教育講演】

「患者との接遇について」

日本赤十字看護大学精神保健看護学 教授 武井麻子先生

【特別講演】

「生理機能検査の現状と将来について」

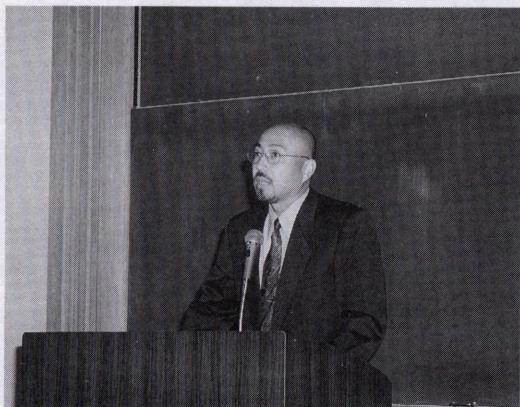
杏林大学医学部附属病院 検査部技師長 司茂幸英先生

【指定講演】

日赤病院検査業務の実態調査報告

「検査業務管理についての実態調査」

近清裕一先生（小松島赤十字病院技師長）



本社教育講演々者 見澤先生



教育講演々者 武井先生



特別講演々者 司茂先生



指定講演々者 近清先生



「輸血業務について」のシンポジウムの演者の方々



永年功労表彰の各会員



学術功労表彰の柳(足利)、
海藤(松山) 技師